

**事業所名** グループホーム亀山  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成 19年 3月 9日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 理学療法士  
資格・経験 理学療法士、介護支援専門員、ガイドヘルパー講師(3年)  
B:現職 生活指導員  
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、0-Aヘルパー2級、介護支援専門員  
C:現職 高等学校非常勤講師  
資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

**外部評価の結果**

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

「グループホーム亀山」は洋風二階建ての建物で、一階に1ユニットと併設のデイサービス、二階に2ユニットがあり、合計3ユニットで構成されている。近くには法人母体である伊木診療所と老人保健施設亀籠園がある。スーパーや郵便局、国道やJRの駅からも近く、静かで恵まれた環境の中にある。

夜間や緊急時には、3ユニットならではの協力体制が図られ、医療機関からは24時間体制で支援があり、入居者や家族にとって大きな安心となっている。

入居者のこれまでの生活を大事にし、様々な取り組みを行っている。中でも夜間入浴は、家庭生活の延長としての意識と共に日中の活動による身体や感情の働きを積み、安眠に繋げる効果をもたらしている。

カラオケ大会などの法人合同の行事やボランティア団体による演奏等、ホームでは様々な催しを行っている。

入居者が楽しみを持って生活する取り組みとして、『全国の有名料理を味わう郷土料理の日、寿司や変わりご飯の日、錦菓子の日、抹茶の日』等を企画し、好評を得ている。入居者の希望に沿った、経験を活かした取り組みである。

法人は複合福祉施設として地域の知名度も高く、地域との連携が構築されている。運営推進会議は、行政や民生委員等の協力により定着しており、ホームに対する地域の理解も深まっている。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**

入居者一人ひとりの日々の活動の様子や健康面・医療面に関する記録など、個別に詳細に記録されている。  
バックグラウンドの内容を見直し、個々の情報を活かした介護計画の記述にすることで、日々、実際に行われている様々な取り組みやケアとの関連性をより明確にすることができると思う。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p><b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b></p> <p>基本理念の「誠心誠意、親切、優しさ」を基に、第2の家庭として入居者が遠慮なく落ち着いて過ごせる場所を目指している。心身レベルが低下しても最期まで対応し、安心と満足の得られるホーム作りに努めている。</p> <p>自分らしく生活ができ、仲間思いやりを持ってメリハリのある生活が送れるよう支援している。入居者の希望や自己決定を促す働きかけを行い、和みや笑いのある雰囲気作りを心がけている。</p> <p>代表者は、「人を大切に」という思いが職員に徹底して浸透するよう、毎月の職員会議や朝礼で理念に基づいたホームのあり方や接遇について述べており、職員は記録に残して確認している。また、毎日各ユニットを廻り、入居者や職員と対話し、信頼関係を築いている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p><b>入居者が落ち着いて生活できるような空間づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b></p> <p>優しい声かけて、穏やかに落ち着いた対応を心掛けている。</p> <p>居室には入居者の使い慣れた家具や日用品を持ち込んでもらい、その人らしい空間を作っている。また、シッティングルームや居心地の良い場所で、一人ひとりのペースに沿った生活が続けられるように支援している。</p> <p>自己決定の機会を作り、おしゃべりや作業等、自分のやりたい事を自由に選んでもらえるように働きかけている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人であることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p><b>一人ひとりの力と経験を尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b></p> <p>入居者の趣味や特技・経験を把握し、個々の特長と能力を尊重して本人の意思が生かされるように支援している。入居者一人ひとりの生きがいとなるように、充実感を味わってもらえるように取り組んでいる。</p> <p>訪室の際はノックをし、許可を得て出入りをしている。入居者が外泊する場合は、必ず施錠している。</p> <p>玄関に面会カードを置き、記入後はポストに入れてもらい、ユニットごとにまとめて面会簿に記載して、個人情報の保護を図っている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p><b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b></p> <p>朝礼や申し送りでの情報は、必ずサインをして共有化を図ると共に、業務上心がけるべき内容や接遇に関する事柄を職員の目に付く場所に貼り、注意を向けるようにしている。</p> <p>ヒヤリハットや問題が発生した時には、すぐにミーティングを行ない、今後の対処を検討して3ユニット共通の認識を持ってケアに当たっている。法人全体でも検討し、再発防止に努めている。</p> <p>防災訓練を実施し、不慮の事故発生に備えている。</p> <p>代表者は、掲示板や回覧で研修への積極的な参加を促しており、職員は内部・外部の研修に自主的に参加している。</p>		